

「北海道選抜二次合宿に参加して」

室蘭市立室蘭西中学校 佐藤 龍

僕は北海道選抜に向けた10月10日から12日に行われた一次合宿と、1月15日から17日に行われた二次合宿に、室蘭地区の代表として参加させて頂きました。

一次合宿では、その時に始めて会う選手が多くいました。その中でいいプレイをするためには、やはりコミュニケーションが重要だということが分かりました。自分から進んでコミュニケーションを取りに行ったり、練習メニューの中で、「ナイスパス！」などの声をかけるだけでも、練習の雰囲気や意思疎通の面で大きく変わりました。また、ゲーム中の「ハイ！」というボールを要求するこの一言で、勝敗が左右することも改めて実感しました。お互いに初対面でやりたいプレイがまだ分からないので、自分がフリーでも呼ばなければパスは来ません。そのため、どんな時でも声は出さなければいけないと改めて再確認できました。

二次合宿では、南大会・北大会・南北決戦大会に出場した選手がほとんどでした。初日は少し緊張していつも通りのプレイをできずに終わってしまいました。2日目は1日目に比べて、落ち着いてプレイすることができました。また、ゲームの中では3番ポジションから4,5番のプレイをすることが多くなりました。ボール運びに加わるべきなのか、センタープレイをすべきなのか、その瞬間に求められていることを察してプレイしました。

また、二次合宿では「ハッスルディフェンス」をテーマにしていたこともあり、オフェンスよりディフェンスが目立てるように頑張りました。ディフェンスはどんなに疲れていても、声を出して足を動かして頑張らなければいけないということを学びました。いつもチームで行っているノーミドルやスクリーンアウトを全力でやっても守れないことが何回もありました。北海道選抜に参加する選手は、ボールを絶対に失わない上手さと緩急を生かした速さがあり、さすがだなと思いました。しかし、1on1で負けた時にはやはり悔しかったです。この思いは絶対に忘れません。

今回経験したことは、チームだけでなく室蘭地区全体の力になるよう、様々な場面で生かしていきたいと思います。

最後に、

二度にわたって合宿に参加させて頂きくださった室蘭地区の先生方、

北海道選抜のコーチの方々、

最後まで応援してくれた家族のみんな、

本当にありがとうございました。